

クラウド基盤の共同利用型勘定系サービス

「OptBAE2.0（オプトベイ2.0）」の採用決定について

京都信用金庫（本店：京都市下京区、理事長：榊田 隆之）は、次期勘定系システムについて、BIPROGY 株式会社（本社：東京都江東区、社長：齊藤 昇、以下 BIPROGY）が提供するクラウド基盤のオープン系共同利用型勘定系サービス「OptBAE2.0（オプトベイ 2.0）※」の採用を決定しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 次期勘定系システム「OptBAE2.0」の特徴

（1）信用金庫業界初の勘定系クラウド基盤を採用

OptBAE2.0は信用金庫業界初の勘定系システム基盤として、マイクロソフト株式会社が提供するクラウドサービス（Microsoft Azure）を利用します。システムの更改後は、クラウド基盤の特性を活かし、ハードウェアの更改を伴うことなく継続的にサービスを追加・更新させることが可能となります。また、大規模災害時においては、災対環境に自動切換を行うことで、お客様の決済インフラとして高い安全性・信頼性を確保します。

（2）共同利用型勘定系サービス

サービスメニュー方式を採用しており、金融機関ごとに必要な機能を選択できるため、柔軟にサービスを利用することが可能となります。また、複数の金融機関で共同利用型勘定系サービスを利用することで、運用負荷の軽減やコスト削減を実現します。加えて、当金庫はこれまで基幹系システムの開発について、自営開発を行ってきましたが、今後はBIPROGYに開発を含め委託することで専門性の高いサービスを受けながら、IT人材のリソースを業務改善やお客様へのサービス提供に向けて注力することが可能になります。

2. 稼働時期

2027年1月リリース予定

※「OptBAE2.0」

banking system service Optimizing cost structure and as a Business Assist Engine version2.0 の略。
「運用・ファシリティサービス」および「基盤利用サービス」は標準仕様で利用が可能であり、金融機関の戦略に応じた柔軟かつ最適なメニューの選択が可能な共同利用型勘定系サービスです。「OptBAE」はBIPROGY株式会社の登録商標です。

以上